

必要な

医療と介護は、 国の責任で。

安心して生きられる国へ。



窓口負担

75歳以上の
窓口負担が
2倍に!

安倍政権は、社会保障のかつてない大改悪を進めています。
格差と貧困が拡大し、「生存権」保障に目を向けず、
平和と民主主義を脅かす政府に、
その怒りは世代を超えて広がっています。

食費負担

入院時の食費負担が1食260円から460円に引き上げられ
ようとしています。

1か月入院で1万8000円の負担増!

受診抑制

子ども、障害者(児)、ひとり親世帯など、
医療をより必要とする人や経済的に困難を
抱えている人たちへの自己負担の押し付けは、
受診抑制による重症化をまねき、
医療費は結局高くなるおそれがあります。

入所制限

特養ホームの入所条件が「要介護3以上」に制限され、
多くの介護難民を生んでいます。

保険外し

政府は、要支援1・2の訪問介護・通所介護の
介護保険給付を外しました。

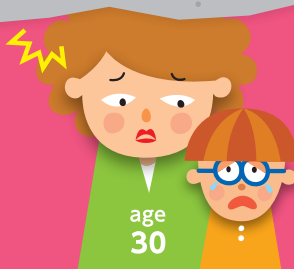
軽減措置の廃止

後期高齢者医療制度の
保険料を軽減する特例措置が
廃止されようとしています。
加入者の過半数にあたる
865万人が影響!

現在の保険料(年額)→特例軽減廃止後 **5倍**
Bさん(女性) **5260円→2万6300円**

76歳・娘の扶養家族

※4月1日の参院予算委員会に小池晃議員が出した資料
2015年度に軽減が廃止された場合として試算



だれもが安全・安心の医療と介護を受けられるよう、署名にご協力ください。

中央社会保障推進協議会・全国労働組合総連合・全日本民主医療機関連合会

[問い合わせ先] 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5階 TEL.03-5808-5344 FAX.03-5808-5345